



伊倉っ子
だより

【学校教育目標】

豊かな心と確かな学力を身に付け、
心身ともにたくましく生きる
児童の育成

伊倉小学校だより

第9号

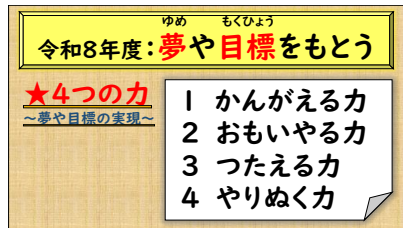
令和8年9月1日

文責：校長 須藤 隆

前期後半のスタートです

あっという間に夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。夏休み前の集会では、「夏休みの40日間は『4つの力』が身についているかを試す期間です」と話をしました。「4つの力」とは、4月から指導を続けている「考える力」「思いやる力」「伝える力」「やり抜く力」を指します。

8月27日（木）の夏休み明け集会では、「大切になのはできなかったことに気づき、具体的に次にどうするか考えて行動することだ」と改めて呼びかけています。前期前半の残る1か月、日々の学びと努力をしっかりと次のステップへつなげられるよう、教職員一丸となって指導・支援に努めてまいります。



PTA 親子美化作業

29日（土）に実施いたしましたPTA親子美化作業には、ご多用中にもかかわらず多くの保護者の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、交通安全協会や老人会の皆様をはじめ、地域の皆様の温かいご協力のおかげで、無事に作業を終了することができました。深く感謝申し上げます。

おかげさまで見違えるほど綺麗になり、子どもたちが気持ちよく学校生活を送れる環境が整いました。

今後ともPTA活動へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

PTA親子美化作業の様子



令和8年熊本地震～人の心の温かさを感じて～

私事ですが、7月28日、熊本県南部を襲った地震により、震源地である宇城市の自宅と生まれ育った実家は甚大な被害を受けました。地震から約1か月が経ちましたが、山積する課題を前に復旧への道のりはまだ遠いのが現状です。

そうした状況の中で、何より私の支えとなったのは「人の心の温かさ」でした。伊倉小の先生方をはじめ、他校の先生、保護者、地域の皆様からは、「大変でしたね」「手伝いに行きますよ」と次々に温かい言葉をかけていただきました。断水中に何個ものポリタンクに水を入れて、駆けつけてくださった方もいました。近所同士でも声を掛け合い、食糧を分け合ったり重い家具を搬出したりと助け合いました。また、千葉県など全国から駆けつけてくださった災害ボランティアの方々や、栃木県警・山口県警・警視庁といった警察車両、給水車で対応してくださった自衛隊員など、多くの方々に守られていることを実感しました。ご自身も被災されながら市役所で丁寧に対応してくださった職員の方々、福岡や長野など全国各地から温かい食糧や水を届けてくださったボランティアの皆様にも、感謝の念に堪えません。

被災の不安の中、ご近所の方々との助け合いや全国からの支援、職員・保護者・地域の皆様から温かい言葉に支えられ、「人の心の温かさ」を深く実感しています。

災害ボランティアの活動の様子

